

みなさんから寄せられました切実な願い 市政にしっかり届けます



日本共産党野洲市委員会が実施しました、アンケートにご協力ありがとうございました。この間、多数のご意見・ご要望が寄せられました。みなさんからの切実な願いをしっかりと市政に届け、「市民の暮らし優先の野洲市」実現へがんばります。以下、アンケートの中間報告をさせていただきます。引き続き、ご意見・ご要望をお寄せください。

アンケートへのご協力ありがとうございました

合併して、あなたの暮らしや地域はどうなりましたか。

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
中主	5.7	44.8	25.3	24.1
野洲	5.2	55.8	4.0	35.1
合計	5.5	50.0	15.2	29.3

合併して約6ヶ月ですが、「まだ、わからない」という回答も多い中、合併後のサービスや市民負担で多くの意見や不安が寄せられています。旧中主町では、「合併で悪くなった」と回答された方は、25.3%にも達しています。

新市のまちづくりで、あなたが最も力を入れてほしいことは、どのようなことですか

教育	福祉・医療	高齢者対策	まちの活性化	環境対策
22.7	43.3	36.0	27.4	34.3

小泉内閣や滋賀県が、市民犠牲を強める中、福祉・医療、高齢者対策、環境対策の充実を求める声が多数を占めています。その他、まちの活性化、子育て支援も重要課題です。

「新市の建設計画」では、131億円の合併特例債で、21事業を予定しています。あなたはどのように思われますか。

推進してほしい	大型事業は見直すべき	生活密着事業を優先に	わからない
6.1	40.2	40.1	12.8

131億円の多くに箱物事業が計画されていますが、「無駄な特例債使用は市民に負担がかかる」と、大型事業を見直し、生活関連事業優先で、計画的な財政運営を求めるご意見が多数を占めました。

国民健康保険・介護保険料や上下水道料金は、平成17～18年度に料金が調整されますが、合併以前より高くなるのが計画されています。あなたはどのようにお考えでしょうか。

市財政上から値上げはやむをえない	「負担は低く」と説明しているから値上げはしないで	わからない
12.2	77.4	10.4

「これ以上、国保税や介護保険料が高くなれば払えない」と、切実な声が寄せられています。合併では、「負担は低い方に」と繰り返し説明されていました。ところが、この3月議会では、旧2町とも大幅値上げの議案が提案されています。

両庁舎で行われている「市民窓口」サービスは、「当分の間の実施」とされ、いずれ廃止されます。その結果、相談や申請の多くはいずれかの庁舎に行かなければなりません。あなたは、どのようにお考えですか。

	合併だから廃止は仕方ない	存続し充実してほしい	どちらでもない
中主	10.3	80.5	4.9
野洲	18.2	61.0	20.8
合計	14.0	71.3	14.6

「本庁舎に行かなければ対応できないと言われた」「車の運転できないから大変」など、現状を訴える声が寄せられています。そして、「必ず、存続してほしい」の強い要望も。とりわけ、本庁舎に業務の機能が集中しており、旧中主町のみなさんからは、「廃止になったら、何のための合併だったのか」と批判がでています。存続と充実が切実な願いです。

アンケート結果の数値は、すべて%表示です。

やす民報

発行 日本共産党野洲市委員会
2005年3月27日 24

市政へのご意見・ご要望、暮らしの相談をお気軽にお寄せください

小菅六雄 (住所) 比江668-3 (TEL) 589-4971 (FAX) 589-6184
野並享子 (住所) 北野1丁目7-10 (TEL) 587-0985 (FAX) 586-1102